

平成25年度指定管理業務 評価票

1 基本事項

(1)公の施設の名称	糸魚川市青海屋内水泳プール
(2)施設の設置目的	水泳を通じて市民の健康増進を図るとともに、市民スポーツの振興に資するため、屋内水泳プールを設置する。
(3)所管部署	生涯学習課
(4)指定管理者	株式会社新潟ビルサービス
(5)指定期間	平成22年4月1日から平成26年3月31日までの4年間
(6)主な事業	・屋内水泳プールの管理運営 ・利用申込の受付等・利用料金の徴収・水泳教室・プール施設の管理業務、施設、設備、器具及び備品の維持管理

2 管理運営状況

(1)平成25年度管理運営状況(主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績)

幅広い年齢層が利用しやすい教室プログラムの企画・運営により、多くの市民の方が利用できるような取り組みを実施している。利用者数及び 利用料金収入は前年度を上回った。市立小中学校の大会・授業でプール使用の協力を行っている。また、直営時から引き続き、地区の水泳クラブの活動にコースを開放している。

(2)利用状況

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
指定管理者名	株式会社新潟ビルサービス	株式会社新潟ビルサービス	株式会社新潟ビルサービス	株式会社新潟ビルサービス
利用者数(人)	31,429	29,984	29,111	37,155

「利用者サービス」における市の状況分析

平成22年度より指定管理制度を導入し、直営時よりも多様な教室プログラムを取り入れ多くの市民から利用いただける事業運営を行っている。

(3)収支状況

(単位:千円)

収入		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度(予算)
	指定管理料	21,187	21,780	22,005	22,236	27,400
	利用料金	7,227	7,059	6,960	8,843	8,300
	事業収入	288	352	401	360	750
	その他収入					
	計	28,702	29,191	29,366	31,439	36,450
支出	人件費	15,939	15,939	15,939	15,939	17,428
	イベント事業					
	施設管理費	13,386	15,138	14,078	14,789	15,834
	その他経費	4,318	3,102	2,946	4,557	3,188
	計	33,643	34,179	32,963	35,285	36,450
収支差額		-4,941	-4,988	-3,597	-3,846	0

「収支状況」における市の状況分析

平成25年度の利用料金収入が指定期間の4年間の中で一番大きな数字になったが、支出について、電気料の値上げ等により金額も増えたため、収支状況は昨年度より赤字額が多くなった。

3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	安心・安全な管理運営の達成
	目 標	適正な施設の維持管理。
	実 績	仕様書に基づいた適正な管理運営業務が行われた。
資料	「青海屋内水泳プール危機発生時対応マニュアル」を作成し、事故・災害発生時に緊急体制図に基づき職員が対応を行います。 別紙図添付	

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・誰もが平等に利用できる仕組みを構築し運営しているか。	6月25日 監視研修（一時救命処置・AED）
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	7月15～17日 プール水換え水及びプール内清掃
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	11月21日 消防署職員立会による普通救命講習
	・利用者が安全、安心に利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	3月27日 消防避難訓練
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	開館前、閉館後にプールの安全点検を実施している。夏休み期間は監視員を増員して監視を強化した。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	館長が苦情対応の責任者となりマニュアルに基づき対応している。プールの水温、室温については巡回時に確認し、適正温度を維持するよう努めている。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A	B
	評価理由	管理運営に関しては、利用者の安全と利便性を第一に考え施設運営を行ってまいりました。危機発生時対応マニュアルをもとに、各種訓練を行いました。特に、施設の性格上、利用者が多くなる夏休み前には、監視員の資質向上のため監視研修を実施し安全の確保に努めました。また、設備等による事故防止の為、適切に保守点検を行っております。	職員の研修だけでなく、水辺の安全教室等利用者也対象にした安全講習会を行い安全意識の向上を図っていることは評価できる。また、施設の保守点検、清掃も適正に行われており、利用者が館内で過ごしやすい環境を整えるよう努めている。
	改善事項	設備等の事故発生を未然に防ぐため、引き続き適切な保守点検に努めます。	今後も継続して研修・訓練を行い職員の安全意識の向上に取り組み、万全の危機管理・安全管理体制を維持していただきたい。

【評価基準】

AA:仕様書の内容や目標を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。

A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり優れている。

B:概ね仕様書の内容や目標どおり成果があり適正なもの。

C:仕様書の内容や目標を下回り、努力が必要なもの。

4 利用者サービスの向上

目標管理	評価指標	利用者人数の増加			
	目 標	利用者 47,000人			
	実 績	利用者 37,155人（達成率79.1%）			
資料					
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
	一般利用者(人)	17,506	15,537	12,899	16,237
	教室利用者(人)	13,947	14,447	16,212	20,918
	計(人)	31,453	29,984	29,111	37,155

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	・年4回の定期的な教室の開催だけでなく、サンドリーム体操、水中運動、サンドリーム体操、サーキット運動等の通年行う教室も開催した。外部講師の指導によるアクアZUMBA、ZUMBAの教室を新規で実施した。 ・市の広報紙やホームページを活用した広報活動を積極的に実施している。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	要望のあった教室参加の小・中学生が待ち時間に利用する学習コーナー（自習スペース）を二階観覧室内に設置し、好評を得ている。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A	B
	評価理由	サービスの向上については、アンケートや口頭でのお申し出から、ご利用者の意見を把握し、運営に反映できるようにすすめております。ご利用者の利用促進のため、水泳教室の内容や時間帯の工夫を行い利用者の向上にも努めております。教室だけではなく、一般利用者も昨年に比べて増加し、特に新規での会員券利用者の増加が認められました。	当該プールは幼児用プール、滑り台等の設備がなく、全6コースのうち教室で使用できる3コース（一般利用で3コース開放）のなかで工夫しながら教室の企画、日程を組んでいる。また、夏休み期間は開館時間の拡大及び休館日を無くすこと等により利用者サービスの向上を図る取り組みを意欲的に行っていることが、前年度からの利用者増に繋がっているものと思われる。常時アンケートボックスを設置し、要望・苦情に対する回答について、市に報告するとともに、館内に掲示し、対応可能な要望事項については速やかに対応している。
	改善事項	今後もアンケートを継続し、ご利用者のご意見・要望を集め、水泳教室の内容や運営全般に反映させて、ご利用者の増加に繋げてまいります。	引き続き充実した教室メニューの企画・運営を継続してほしい。今後もアンケートを活用し、利用者のニーズを反映させ、リピーターの確保に努めていただきたい。

【評価基準】

AA:仕様書の内容や目標を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。

A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり優れている。

B:概ね仕様書の内容や目標どおり成果があり適正なもの。

C:仕様書の内容や目標を下回り、努力が必要なもの。

5 収支の実績

目標管理	評価指標	利用料金収入の達成状況				
	目 標	事業計画での目標値				
	実 績	事業計画の利用料金は達成できなかったが平成24年度までの収入を大幅に上回った。				
資料						(単位: 円)
	項 目	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	計画値
	一般収入	2,430,975	2,280,100	1,762,175	2,219,375	3,200,000
	教室収入	4,796,650	4,779,350	5,198,050	6,622,850	7,789,000
	物品販売	287,854	351,869	401,453	360,313	360,000
	合 計	7,515,479	7,411,319	7,361,678	9,202,538	11,349,000
	達成率	66.2%	65.3%	64.9%	81.1%	

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用料収入の目標達成度	プールのみでなく、2階のトレーニングルームを活用したサンドリーム体操、サーキット運動、ZUMBA等の水泳以外の教室にも取り組んでいる。清涼飲料水の販売だけでなく、菓子類・パン（自販機）スイミングキャップ、夏季のアイスクリーム販売などを行い物販収入の確保に取り組んでいる。
	・収入増加のための取組みを実施しているか。	
	・収支決算書は適正に作成されているか。	
	・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	教室料金を安くしてほしいとの要望が時々ありますが、当施設の教室料金は、他のプール施設の水泳教室比べて大変安価に設定していると考えております。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	B	B
	評価理由	企画イベントの実施、水泳教室の工夫を行い、利用収入の目標達成に向けて取り組んでまいりました。結果として、一般・教室ともに利用収入が昨年に比べ増加いたしました。設備の運転方法を工夫して、電気料等の縮減に勤めました。	無料開放日と合わせて無料教室体験（指導員によるワンポイントレッスン）の実施を行うなど、新規利用者の確保に努めている。また、地域の新聞社に教室・イベントの記事の掲載するなど、事業のPRを行い、収入増への取り組みを行っている。その結果、平成25年度の収支決算は、電気料の値上げ等により支出額が増え、昨年度並みの赤字額になったが、収入額が昨年度を大幅に上回ったことは評価できる。
改善事項	改善事項	イベントや教室の内容、告知方法を工夫し、さらに利用者を増加させ、収支の改善に努めます。	今後も積極的な教室・事業のPR活動を行い、新規利用者の獲得に努めていただきたい。適正な施設管理により、光熱水費の縮減に努め、収支状況の改善に努めていただきたい。

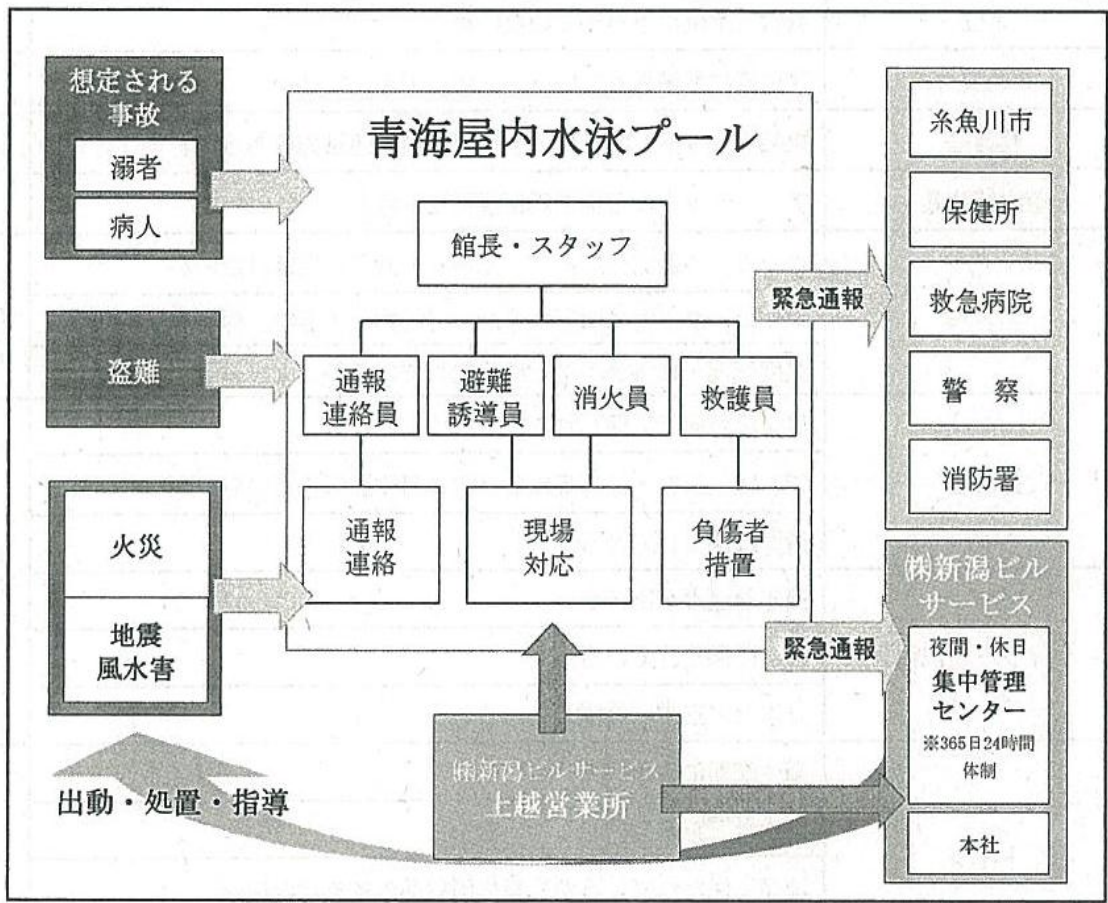
【評価基準】

AA: 仕様書の内容や目標を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。

A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり優れている。

B: 概ね仕様書の内容や目標どおり成果があり適正なもの。

C: 仕様書の内容や目標を下回り、努力が必要なもの。



【青海屋内水泳プール 緊急体制図】

公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）の意見書

1 対象施設 青海屋内水泳プール

2 評価委員会の意見

項目	意見
適正な管理運営の確保	・適正である。 ただし、適正な管理運営の確保、利用者サービスの向上、収支の実績について評価を行ったが、いずれも適正化を考えた場合に、類似施設との比較・検証が重要となってくる。 他の施設の資料を入手し、分析するよう指定管理者に要請するとともに、市においても他の資料により指定管理料等の調査を要請する。
利用者サービスの向上	・一般利用者数が横ばいの中、教室利用者が増加している。人口動向の影響も出てくるだろうが、しっかりした指導サービスが現在の市民ニーズではないかと考えられることから、指定管理者によるサービスメニューの再検証を求める。
収支の実績	・本年度から評価を開始したが、今後、指定管理料の妥当性を判断する資料が必要になってくる。平成 26 年度分から収入及び支出の詳細資料を作成するよう指定管理者に求める。 ・指定管理者のパンフレットについては、経費のかけ方と主張の仕方に工夫を要する。指導ノウハウを持っていることを、もっとアピールすべきである。
総括	・2 期目の指定管理にあたり、公募の結果、参加申し込みが 1 者であった。 ・施設が老朽化しているため、市及び指定管理者が協議のうえ、諸対策を講じていただきたい。 ・市においては、評価委員会の意見が業務改善に生かされるような取り組みをしていただきたい。 ・現在の評価は 4 段階となっているが、3 段階または 5 段階が一般的であることから、今後そのように修正願いたい。

平成 26 年 11 月 26 日

糸魚川市公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）

委員長	織 田 義 夫
委員	小 竹 一 朗
委員	齋 藤 朗
委員	齋 藤 和 豊
委員	伊 奈 晃
委員	吉 岡 正 史
委員	斉 藤 隆 一